

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターボレボレの木(保育所等訪問支援)				公表日	2026年 1月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0	事前に対象児を評価し発達段階に見合った内容の教材や支援ツールの提供を行っている。	個々の発達段階に応じた教材を提供していくます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0	訪問支援職員は、事業所の療育支援も兼務しているため、出来る範囲の件数の訪問支援を行っている。	限られた人員の中で、保護者の要望と訪問先の先生方との事前会議を通して支援の必要性を考えていきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0	1	主に訪問担当職員のみで実施する事が多い。支援していく中で振り返りを行い、検討事案がある場合は、ミーティング内で検討している。	業務改善を進めるために、訪問担当職員以外の職員も参画できる体制整備に努めます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0	保護者向け評価表と事業所用アンケート結果を踏まえ、会議を開催し業務改善点について検討している。	今後も保護者と相談できる時間を設け、保護者の意向を把握できる機会を作るよう努めます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0	2回/月 ミーティングを設けており、意見等発信できる場はある。	ミーティング内での検討事案に対しては、それぞれの意見を集約し業務改善につなげられるよう努めます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	0	自己評価、法人内、他事業所目線での評価はしているが、外部評価はできていない。	今後、第三者による評価については検討ていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	1	0	研修機会があれば、進んで参加している。外部研修等に参加した職員はミーティング内で研修報告を行い共有している。	引き続き、研修会の確保・継続に取り組んでいきます。	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	0	アセスメントを行う際に、保護者からのニーズや課題を聞き取り、子どもの状態に合わせた計画立案・作成している。	引き続き丁寧な支援が行えるように準備していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0	子どもの支援に関わる職員が、複数の視点での支援が反映されるよう子どもや保護者のニーズに合わせ具体的な支援の計画を作成しています。	子どもの最善の利益を尊重し、子ども達が安心して楽しく通える事業所を職員一同で目指していきます。	
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0	訪問先施設の先生方の意見も取り入れながら支援計画を作成している。	訪問先施設の先生方の意向も取り入れながら利用児童が園や学校生活をスムーズに送れる様な支援計画を作成できるよう努めます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0	支援計画に基く、日々の支援を実施している。支援内容について、日々のミーティングで確認すると共に児童発達支援管理責任者による日々の支援内容の確認(モニタリング・記録の確認)などを実施している。	今後も必要に応じて担当職員と支援内容について情報共有し、適切な支援の計画立案・支援に努めています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0	必要に応じて標準化されたされたツールのフォーマルなアセスメントを使用している。	インフォーマルなアセスメントの使用については期間、使用ツールなどを検討しながら使用しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0	保育所等訪問支援のガイドラインを踏まえ子どもの特性等に応じた集団生活の環境調整や活動の流れの変更・工夫を行なながら進めている。	今後も保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら、支援内容を検討していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0	支援計画に基く、日々の支援を実施している。支援内容について、日々のミーティングで確認すると共に児童発達支援管理責任者による日々の支援内容の確認(モニタリング・記録の確認)などを実施している。	今後も適切な支援の計画立案と療育支援に努めています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	1	小規模の事業所であり療育支援を兼務しているため、主に1名で訪問支援を実施している。検討事案や多職種の意見が必要な時は、ミーティング等で支援内容について検討する機会を設けている。	検討事案や多職種の意見が必要な時は、ミーティング等で支援内容について検討し、連携して支援を行っていきます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	1	小規模の事業所であり療育支援を兼務し、主に1名で訪問支援を実施している。そのため、支援の振り返り等も担当職員が1人で行っている。支援内容に関しては、児童発達支援管理責任者が支援内容を確認している。	支援内容に対して検討事案や多職種の意見が必要な時は、ミーティング等で支援内容について検討し、連携して支援を行っていきます。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	0	訪問支援を実施する際、必ず訪問先施設の先生方の対象児童の対応の仕方や訪問先の方針などを尊重、確認しながら相互に理解した上で支援を行っている。	訪問先との連携を密にし、訪問先の理念や支援手法を尊重しながらより良い支援を提供できるよう努めます。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	0	訪問支援に関して、毎回記録を記載し訪問先にも記録用紙を渡している。記録を通して支援員がアセスメントし、児童発達支援管理責任者が支援記録の確認をしている。	今後も継続して記録を通して支援の検証・改善に努めています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0	定期的に訪問先の先生方の意向を聞き、保護者の意向も踏まえ、定期的にモニタリングを実施した上で計画の見直しを行っている。	今後も引き続き、より良い支援が提供できるよう支援計画の適切な見直しを行っていきます。	
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0	可能な限り、児童発達支援管理責任者や担当療育支援者、訪問支援職員が参加している。	今後も継続して担当者会議に参画していくよう努めます。	
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0	医療については、法人と同じくする小児科(野間こどもクリニック)と連携支援を行っている。必要に応じ他の関係機関との連携は図っている。	今後も引き続き専門機関との連携・支援体制を整えていきます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0	就学前の移行時には、当事務所利用児は全員連携支援をして頂くよう案内している。就学の支援内容についても必要があれば、事前会議等で情報共有している。	利用児童が、就学先で穏やかに過ごし、適切な支援が受けられるよう就学先と情報共有し連携支援に努めます。	

「保護者との連携」	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0	職員が希望する研修は、それぞれが参加しており専門機関等に助言や他施設の意見や考え方等を聞く機会もある。	当事業所の支援の質の向上を図るため、積極的な外部研修の参加を促します。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	1	今年度は、子ども部会に児童発達管理責任者のみ参加させて頂いた。案内や参加依頼があれば、出来る限り参加させて頂きたいと思っています。	機会があれば、子ども部会や会議等に参加させて頂きたいと思っています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0	訪問支援内容を定期的に保護者に報告し、説明を行っている。また、保護者のニーズに合わせ、課題等共通理解をしている。	訪問支援では保護者にお会いする機会が少ないが、電話や日程調整し来所して頂くなどできるだけ保護者と話す時間を設けるよう努めます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0	個別の相談だけではなく、家族支援プログラムとしてペアレン特トレーニングを毎年、年に1回開催している。	今後も継続して取り組んでいきます。
「保護者等への説明等」	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0	契約時にサービス利用契約書や重要事項説明書をもとに、説明している。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0	訪問支援を開始する前には、必ず訪問先施設に連絡、訪問し事業の趣旨や訪問目的等を説明している。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0	保護者のニーズやヒアリングを基に課題に沿った支援計画を作成している。	今後も保護者の皆様のニーズやお子さまの意向も踏まえ、お子さまや保護者の意思の尊重を大切にし、支援していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0	「保育所等訪問支援計画」を用いて支援内容の説明を保護者に行い、同意を得て署名をしていただいている。	引き続き、今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0	定期的な家族との面談や相談時間を設けている。家族等からの子育ての悩みに対する相談があれば必要に応じて相談の時間を設ける事も行っている。	必要性があれば、定期的な面談以外のご相談にも適切に応じる事ができるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	1	保育所等訪問支援のみ利用されている保護者は保護者同士の交流は行っていない。定期的に各保護者の面談を実施し、随時生活課題やニーズ悩みについて確認を行い、必要に応じて面談や支援を実施し、お互いに協力し合う姿勢で支援を心がけている。	訪問支援のみ利用の場合は、保護者同士が交流する機会を持つことは少ないが、保護者の希望に応じて対応を検討します。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0	子どもの特性や保護者に配慮し、意思の伝達や相談に対して速やかに対応するよう努めている。	相談体制について、周知に努めていくと共により良い方法を検討していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	1	定期的な会報の発行等は行っていない。ホームページやパンフレット等で活動概要を開示しているのみである。	SNS等での保護者への発信の検討や新システムの導入も検討しております。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0	個人情報の取り扱いは法令遵守するよう努めています。個人情報を他機関と共有する場合は、保護者に確認と了承を得ている。	引き続き、十分な配慮や注意を払い対応していきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0	必要に応じて、口頭だけでなく書面に書いて情報を提供するなどの配慮を行っている。	今後も継続して取り組んでいきます。
「訪問先施設への説明等」	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0	訪問先から担当児童以外の事での相談を受ける事もあり、必要性に応じて適切に助言や支援を行っている。	訪問先支援の評価も含め、訪問先から相談しやすい関係性を継続できるよう支援に努めます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0	訪問支援実施後には、先生方の時間があれば、フィードバックを行なうよう心がけている。訪問支援後に必ず訪問記録用紙をお渡しするようにしている。	今後も引き続き、訪問先施設と連携し、情報共有できるよう努めます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0	訪問支援実施後の報告については、必ず保護者へ対面や電話等で報告し、支援内容等の共有を行っている。	今後も丁寧な説明に努めています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0	個人情報の取り扱いは法令遵守するよう努めています。個人情報を他機関と共有する場合は、保護者に確認と了承を得ている。	引き続き、個人情報に関して十分な配慮や注意を払い対応していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0	訪問先施設からの相談に対して、専門的な立場から助言等を行い、訪問先の先生方が負担にならない支援を提案している。	今後も引き続き、訪問先施設と連携し、信頼関係を築けるよう努めています。
「非常時等の対応」	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0	各マニュアルは、玄関にファイルを置いており、いつでも閲覧できるようになっている。保育所等訪問支援のみ契約の利用児童は、訓練等に参加する機会はない。	各マニュアルを策定し、ミーティングで対応方法等の確認を行っています。周知・訓練について日々改善に努めます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0	安全計画を作成し、計画に基づき支援を行っている。	今後も継続して行なっています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0	ヒヤリハットが発生した場合は、報告書を作成し職員間で回覧し共有している。再発防止についてミーティング内で検討している。	今後も継続してヒヤリハット事案について検討し、再発防止に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0	毎年、虐待防止の研修機会の案内は行なっており積極的に研修の参加を促している。	虐待防止に関する研修(外部研修も含む)積極的に参加できる機会を作り、職員の意識向上に努めます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0	基本的に、保育所等訪問支援では間接的支援が主で、利用児童に直接支援することは稀である。園の先生方と共に実施したり、指導する事が主である。	やむを得ず身体拘束を行なう場合がある時は、身体拘束におけるマニュアルを基に検討し必要時は支援計画に記載します。